

# 塚原康子

受賞教員インタビュー 第4回

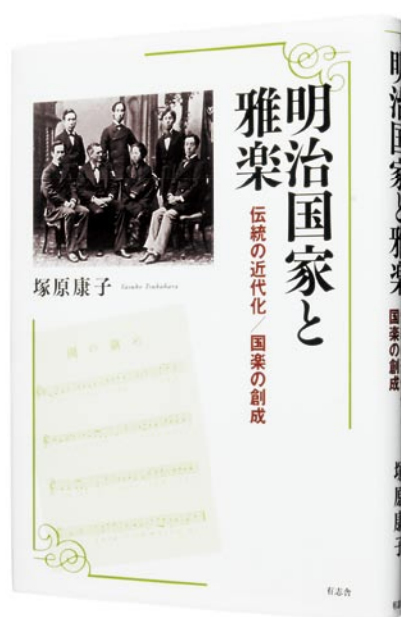
雅楽の近代化の過程を解き明かした『明治国家と雅楽』が田邊尚雄賞を受賞。  
今年度からは本学音楽学部附属音楽高等学校校長の重責も担う。

## 明治初年の雅楽改革

日本音楽史を研究してきたなかで『明治国家と雅楽——伝統の近代化／国楽の創成』は、何年もかけて構想を練り執筆した本です。少し難しそうなタイトルですが、みなさんご存じの雅楽という音楽が、明治維新後の大きな変革を経て、いまのような形になったことを伝えることが、この本を書いた目的のひとつです。

雅楽というと「宮廷音楽」「神道の音楽」のイメージが強いかもしれませんが、もともととは仏教ともゆかりの深い音楽でした。また江戸時代には、宮廷だけでなく幕府や諸藩でも雅楽の楽人を抱えていたのです。

それが明治以降、宮廷や神道のための音楽として使われる度合が高くなったため、古くからそうであったかのように思われてい



『明治国家と雅楽 伝統の近代化／国楽の創成』（有志舎）

るかもしれません。変化の発端となった雅楽の改革は、早くも明治初年から始まりました。明治政府にとっては、雅楽の伝統を近代化し、いち早く制度化する必要や緊急性がそれだけ高かったわけです。

またそれとともに、宮廷に仕えていた雅楽の演奏者たちは、それまでの楽人から明治政府の伶人（のちの楽師）となり、雅楽の「万芸」を兼ねたうえ、西洋音楽を習

得することも命じられました。そして「保育唱歌」という、雅楽の音階を使った近代歌謡をつくる役割を担うことにもなりました。

邦楽の一分野である雅楽が経験した「近代化」を検証することで、明治以降の日本音楽史の違った一面をうかがい知ることができるはずです。

今回の本で賞をいただいた「田邊尚雄賞」は、社団法人東洋音楽学会の初代会長で音楽学者であ

## 第23号 目次

02 受賞教員インタビュー 第4回

塚原康子

geidai gallery vol.3

04 山下了是 山と瀧の図

06 教員は語る 第15回

江口玲×長瀧寛幸

09 受賞学生インタビュー 第6回

大島碧 朴瑛実 田村友一郎

12 TOPICS

美旬 音旬 映旬

20 卒業生に聞く。 第2回

山田和樹

22 研究室探訪 第2回

美術学部工芸科 陶芸研究室

24 上野の寄り道 散歩道 第4回

上野動物園散策

26 上野の杜の波瀾万丈 第12回

日本美術の保護 前篇

吉田千鶴子

28 展覧会&演奏会情報

彫刻の時間——継承と展開——  
藝大アート・スペシャル 2011

30 NEWS 2011.02 ～ 2011.07

編集後記

る田邊尚雄先生（一八八五—一九八四）の功績を偲んで、東洋音楽に関する研究業績に対して贈られる三十年近い歴史をもつ賞です。『明治国家と雅楽』はこれまで長く取り組んできた成果ですので、受賞を一区切りにこれからも研究に励みたいと思います。

### 藝高校長として

ところで今年度から私は、粕谷（多）美智子先生の後任として、

本学音楽学部附属音楽高等学校（以下「藝高」）の校長の重責を担うことになりました。藝高というと、ピアノやヴァイオリンなどの専攻のイメージが強いかもしれませんが、せんが、一九九九年（平成十一年度）より邦楽の専攻も設置され、箏曲を始めに、現在は尺八、長唄三味線、邦楽囃子の専攻があります。

藝高の校長として、生徒全員の成長を見守る立場になり、六

月には、卒業試験にあたる三年生の公開実技試験全てに立ち会いました。高いレベルの技量をもつとはいえ、まだ十七、八歳の高校生が、一人で公開試験にのぞみ全力で演奏する姿は、まるで「勇者たち」とでも呼びたいくらい、ほんとうに印象深いものでした。今後、この生徒たちの行く末を見守っていこうと心に思う一方、校長としての責任の重さをひしひしと感じました。



Photo by Hiroaki Horiguchi

#### 藝大通信

№23

TOKYO GEIDAI

東京藝術大学広報誌

藝大通信 第23号

#### 編集発行

東京藝術大学 藝大通信編集部

#### 編集委員

松下 計（美術学部デザイン科准教授・編集長）

斎藤典彦（美術学部絵画科日本画准教授）

小鍛冶邦隆（音楽学部作曲科教授）

毛利嘉孝（音楽学部音楽環境創造科准教授）

筒井武文（大学院映像研究科映画専攻教授）

大石、泰（演奏芸術センター准教授）

アートディレクター

松下 計

表紙デザイン

表紙撮影

堀口宏明

撮影

堀口宏明、川島保彦

永井文仁（美術学部附属写真センター）

制作

株式会社 平凡社

発行日

平成二十三年九月二日

#### お問い合わせ先

東京藝術大学総務課

〒二〇〇八七二四 東京都台東区上野公園十二一八

電話 〇五〇一五五二五二〇二六

FAX 〇三二五八五七六〇

E-mail [toiawase@ml.geidai.ac.jp](mailto:toiawase@ml.geidai.ac.jp)

URL <http://www.geidai.ac.jp/>

塚原康子（つかはら・やすこ）教授―音楽学部楽理科一九五七年北海道生まれ。八二年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。九〇年東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程修了（学術博士）。九二―九四年東京藝術大学音楽学部楽理科助手。二〇〇二年同助教授（〇七年四月より准教授）を経て〇九年より同教授。二〇二二年より東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校長。著書に、『十九世紀の日本における西洋音楽の受容―京都音楽賞・田邊尚雄賞受賞―』『はじめての音楽史―共著―』『プラスバンドの社会史―共著―』ほか。二〇〇九年、『明治国家と雅楽―伝統の近代化―国楽の創成―』（有志舎）で第二十七回田邊尚雄賞受賞。